国立大学附属幼稚園からの提案 14

遊びを支える
教材の工夫・教材研究

目　次

発刊にあたって / 「遊びを支える教材の工夫・教材研究」について ……2

● 記載事例

幼児期の体づくりを支える環境構成　弘前大学教育学部附属幼稚園 ……3
豊かな遊びを育む教材の工夫　岩手大学教育学部附属幼稚園 ……4
豊かな暮らしを創造する園の環境　宇都宮大学教育学部附属幼稚園 ……5
多様性に富んだ遊び方ができる土遊び　千葉大学教育学部附属幼稚園 ……6
子どもが主体的に遊ぶための魅力ある教材　福井大学教育学部附属幼稚園 ……7
遊びを支える教材の工夫・教材研究　信州大学教育学部附属幼稚園 ……8
幼児を遊びに誘う魅力的な環境「遊誘財」　鳴門教育大学附属幼稚園 ……9

● コラム

豊かな教育環境の創造につながる教材研究 ……10

● 平成31年度全国国立大学附属幼稚園研究テーマ一覧 ……11

平成31年３月
全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会

発刊にあたって

降園の際，年少の園児が，靴を履こうと手に持って逆さにしたところ，中からざーっと砂が流れ落ちました。砂場で遊んだ際に入ったか，それとも築山を駆け上がった時に入ったのでしょう。担任の先生から「きょう，たくさん遊んだんだね！」と声をかけられ，満面の笑みを浮かべる子がいました。

靴の中の砂を見て，手応えを感じる子ども。そして，喜びを感じる担任教師。靴の中の砂，ズボンの膝の泥，伸びきってしまった帽子のゴム。これら，子どもの姿を彩り形づくるディテールに，子どもを見守る遊びの神さまが宿っています。子どもの成長の姿は，作品や成果物，発表会のようなものだけでなく，こうした細部にも日常的に現れることを私たちは知っています。そして，その育ちの姿に大いに導くのが，遊びを支える教材です。砂，土，水，木々…。素朴なものから，園や地域の特性を生かした多様なものまで，子どもたちの成長を願って，日々教材研究することが私たち教師の務めです。

ここに「国立大学附属幼稚園からの提案」をお届けします。これは，全附連幼稚園部会の諸幼稚園の皆様から寄せられた貴重な研究実践により構成されたもので，発刊を重ね14号になりました。ご執筆いただいた各園の皆様に感謝申し上げますと共に，これからも引き続き全国の子どもたちの育ちに，そして学びに生かしていただけますことを祈っております。

全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会長

林　　耕史

「遊びを支える教材の工夫・教材研究」について

幼稚園教育要領の改訂をふまえ各国立大学附属幼稚園が取り組み実践した様々な教材に関する成果を紹介します。

教材は幼児が関わる対象としての存在です。それを最小単位である「もの」として見れば，素材としての性質や特徴などを適切に把握することが重要になります。そしてそれらが持っている物質・物体としての特性に保育の中の「遊び」という視点から改めて価値を付与し，新たな教材として創生する営みが教材研究です。そこに子どもの発達や教師の存在，教育課程や全体のマネージメント等が加わります。

研究の過程で教材に何を付与するかは、これまでそれぞれの幼稚園が独自に育んできた特色によって異なっています。同じ特性を備えた素材であっても，その特色に染まり異なる環境の中に取り込まれた教材はまったく違った性質を帯びています。創出されるその多様性の中に，国立大学附属幼稚園の教育研究の質の高さがあります。

さて，昨年のリーフレットで焦点をあてた「主体的・対話的で深い学び」という文言は，幼稚園教育と初等・中等教育全ての校種間で「子供の学び」の共通理解を可能にしました。今後は幼稚園の研究成果も校種を越えて共通言語で広く共有することが可能になります。「教材」に関しても共通に語り合えるようになることが期待されます。リーフレットがその一助となることを願っています。

ここに紹介された具体的な「教材の工夫・教材研究」が校種を超えて広く共有されるとともに、全国の幼稚園教育の中で保育の実情に適応させた実践に反映される成果となれば幸いです。

全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会調査委員長

小原　伸一

幼児期の体づくりを支える環境構成

～多様な動き＆健やかな心の育ちへ～

本園では，研究テーマを「幼児期の体づくり」と設定し，平成28～29年度は副題を「多様な動きに着目して」，平成30年度は「健やかな心の育ちに着目して」として研究を進めている。動きのバリエーションやあまり見られない動きが生まれるような環境構成を工夫すると共に，子ども主体の遊びが広がっていくような園内環境を目指している。

環境構成　教師の援助

遊び

多様な動き

「動きの多様化」「動きの洗練化」
・基本的な動き
・遊びや運動の中で必要な動き
・手先の動き
・日常生活で必要な動き

動きのパターン
動きのバリエーション

健やかな心

・情緒の安定
・興味　関心　意欲
・素直に表現
・自己肯定感
・協調性　思いやり
・めあて
・善悪の判断
・五感　自然　等

園内環境の見直し・計画

☆あまり見られない動きは何か
♡心の育ちを促すための設定はどうか

教材の工夫

子どもと一緒に作るアスレチック

・子どもたちのアイディアを生かして，お気に入りの遊具を作りたい。
例　タイヤブランコ
　　丸太ブランコ
　　ハンモック

自然を生かして

・木，土，雪，風などを十分に感じ，ダイナミックに遊んでほしい。
例　雪のトンネル
　　かまくら
　　木登り
　　築山転がり

自由な発想で活用できる可動遊具

・ビールケース，板，タイヤ，ラティスなど，いろいろな組み合わせを考えて，自由な発想で遊んでほしい。
例　迷路作り
　　お化け屋敷
　　サッカー場

職員の手作り遊具

・子ども同士がもっと関わり合って遊んでほしい。
・ダイナミックな動きをしてほしい。
・あまり見られない動きを使って遊んでほしい。
例　すのこブランコ
　　ロッククライミング
　　トンネル玉入れ

挑戦したくなる固定遊具

・あまり使われていない遊具を活用したい。
・やってみたい，おもしろそうという思いをもってほしい。
・ちょっと難しいけれど，挑戦する心を育みたい。
例　たいこ橋とブラウニーハウスをつなぐクモの巣渡り
　　滑車ロープからつながる登り棒

年長児の提案遊び

・年長児がやりたい遊び，楽しんでいる遊びに全園児を招き，異年齢交流を広げたい。
・年長の自覚を促したい。
例　忍者屋敷ごっこ
　　わくわくランド

保育カンファレンス
ドキュメンテーション
記録教員の話し合い

☆子ども自ら動き出していたか
♡心の育ち・変化が見られたか

子どもの動きの見取り

☆動きのパターンやバリエーションが広がっているか
♡子どもたちの遊びに創意工夫や広がりが見られるか

弘前大学教育学部附属幼稚園　〒036－8152　青森県弘前市学園町１－１
電話：0172-32-6815　FAX：0172-32-7634　Eメール：fuyo@hirosaki-u.ac.jp

豊かな遊びを育む教材の工夫

本園では，豊かな遊びを通して一人一人の自分づくりを支え，生きる力の基礎を育む実践・研究に取り組んでいる。豊かな遊びを育むためには，遊びの状況を適切に読み取り，幼児理解に基づき，環境を構成したり，教材を工夫したりすることが不可欠である。そこで，遊びの質を高める教材は何か，どのような工夫が可能かなど，組織的・計画的な教材研究を行い，教師の資質向上につなげ，豊かな遊びを育む保育の展開を目指している。

豊かな遊びを育む保育の展開

教師集団の資質向上

教育課程・長期指導計画

短期指導計画（週案）

指導計画の修正・改善

幼児理解
・自己の育ち
・体験の意味

幼児理解

環境の構成

教材の工夫

実践
評価・反省

環境の構成
・幼児一人一人の理解や教師の願いに基づいた暫定的な環境の構成
・没頭して遊び，充実感や満足感が味わえるような援助
・変化していく遊びの状況を読み取った環境の再構成・教材の工夫

幼児理解に基づいた教材の工夫
・興味関心を深め，集中して取り組む教材の工夫
・遊びの発展・展開につながる可能性のある教材の工夫
・挑戦意欲を引き出す教材の工夫
・体験の多様性と関連性を踏まえた教材の工夫
・知識・技能の基礎を培う教材の工夫
・協同して遊ぶ活動の工夫

評価・反省
・幼児にとって教材がどのような意味をもち，どのような学びにつながったか，「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10項目の視点からとらえる
・教材の教育的価値や遊びの質を高める教材としての妥当性などを振り返る

ティーム保育による組織的･計画的な教材研究

実践例

ブランコの支柱の活用
多様な動きを引き出す工夫

ぶら下がる・揺れる

ゴムをとびこえる・くぐる

ロープをつたい、登る
後ろ向きになって降りる

木を作る
知識･技能の基礎を培う工夫

ホチキスの使い方を知る

自分なりにイメージする木を作る

作った木を遊びの場に活用する

化石発掘ごっこ
興味関心を深める工夫

発掘した石を磨く

顕微鏡で調べる

学芸員のお話から刺激を受ける

岩手大学教育学部附属幼稚園　〒020－0807　岩手県盛岡市加賀野３－９－１
電話：019－622－4691　FAX：019－653－4608　Eメール：efyotien@iwate-u.ac.jp

豊かな暮らしを創造する園の環境

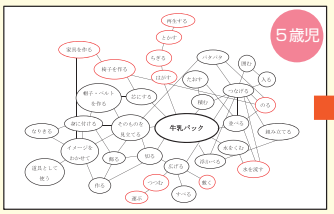
幼児の多様な経験を可能にしたり今までの経験を結び付けたり広げたりし，一人一人の世界を広げていくにあたって，「もの」の存在は大きい。本園では，様々な素材や道具を吟味し，それらと関わる中での幼児の姿を予想し，保育の可能性を探ったり，発達と経験の関係性を探ったりしながら保育を構想する営みを繰り返しており，独自の教材の開発をしている。また，教育課程と照らし合わせ，教材を通したカリキュラムマネジメントについてもまとめている。

発達と経験の関係性を探る

一つ一つの素材や道具，教材・教具と向き合い，それらの「もの」を通した遊びのアイデアを出し合いながら，発達と経験の関係性を探り，保育を構想している。

①1つの素材を中心に

一つの素材と向き合い，その素材を通した幼児の経験を予想し，様々なアイデアを出しながら，保育を構想していく。



【牛乳パック】

牛乳パックとのかかわりを通した経験をウェビング

②1つの教材・教具で

一つの教材の中で一人一人のかかわり方でそれぞれの楽しみが見つけられるように発達段階と経験する内容を考慮し，環境構成していく。

【中型積み木・大型積み木】

遊戯室いっぱいの積み木でイメージをわかせて遊べるように保育を構想する

【粘土】

発達に応じて（経験させたい内容）に応じてふさわしい粘土を吟味し，保育を構想する

<小麦粉粘土>心地よい感触を楽しめる

<砂粘土>様々な行為が楽しめる

<土粘土>ダイナミックに取り組める

③本物の道具や用具で

本物の道具や用具（文化物）を使うことで，遊びへの思いが膨らんだり，経験が広がったりするように

【金づちを使って】

- 幼児でも扱えるような道具の吟味
- 道具や用具が使いたくなるような遊びを創造

園独自の教材の開発

本園では，幼児の学びへの願いを込めて，教材の開発を重ねている。素材，大きさ，重さ，多様な使い方等．検討を重ね，作成している。

円筒・半円筒（パルプ）

ゆらゆらゆれる
組み合わせて安定感

大型発泡スチロール

組み替えられる　適度な重量
体ごとかかわれる

大型滑り台（園児用廃棄机）

可動式
何人かで滑れる

パタパタ（発泡スチロール等）

様々な形に変化
作ったものを見立てやすい

教材（素材・道具）を通したカリキュラムマネジメント

本園の教育課程において，幼児の経験を支えている素材や道具を整理し直し，それぞれの期ごとに示している。
※本園の教育課程とともに記載している。…詳しくは本園までお問合せください。

宇都宮大学教育学部附属幼稚園　〒320-8538　栃木県宇都宮市松原1丁目7番38号
電話：028-622-9051　FAX：028-625-8016　Eメール：fuyo@cc.utsunomiya-u.ac.jp

多様性に富んだ遊び方ができる土遊び

本園では“子どもが自ら周囲に働きかけ，遊びの中で主人公になってほしい”という願いをもち，子どもには自分なりに表現を楽しんだり，思いを実現したりする楽しさ，充実感を味わえるような経験を積ませたいと考えている。そのための教材とは，遊び方・使い方が多様で子どもの活動を制限しないもの，その子なりの試しができるもの，その子なりの向き合い方ができるものがよいと考え研究している。そこで，土遊び（荒木田土）を導入し，子どもの様子（個々の取り組みの様子や遊びの展開）および子どもが主体的に取り組む活動になるまでのプロセス（環境の工夫を含む）について検討した。

可塑性のある土の検討→荒木田土の導入

感触を楽しむ

素手で泥に触ることができない子もふるった土に「フワフワ」と言いながら手を入れていた。一度触れば大丈夫。泥の手で握手して次第に全身土まみれ！心地よい場や時間を大切にした。

試行錯誤する

「こんな固さにしたい」など自分なりにめざす土の形状になるまで調節したりする。園庭のいろいろな場所の土を使って試してみる。

表現を楽しむ

園庭にある木の実や草，花，枝などを飾ったり，ドロドロに草を入れて混ぜたりしながら「自分だけの」作品が仕上がる。身近な自然物や様々な道具を手に届くところに用意することが表現の幅を広げる。

没頭する

じっくり取り組める場や時間を保障することで，一人で没頭して取り組むことができる。

友達と関わる

泥んこまみれ同士で仲間意識が生まれる。チョコレート屋さんなど同じイメージのもと一緒に遊ぶ。「どうやって作ったの？」「その泥どこの土？」と情報交換しながら自分たちのめざすものを作ろうとする。

荒木田土という可塑性のある土を導入したことで，初めての幼稚園に緊張している子やなかなか心を開いてくれない子たちが夢中になって土遊びをするようになった。そして，教師の用意した土から，自分たちで遊びを生み出すようになったり，子どもたちが身近な土に興味をもって関わるようになったりした。土の多様性と共に遊び方も広がる。園環境の中に土を取り入れ，環境を整えることによって子どもが変容する場にしていきたい。

千葉大学教育学部附属幼稚園　〒263－8522　千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
電話：043-251-9001（FAX共通）　Eメール：irisawa@faculty.chiba-u.jp

子どもが主体的に遊ぶための魅力ある教材

本園では，子どもが自ら対象とかかわって遊びを作り出すことを大切にし，好きな遊び（個）とみんなの時間（集団）を絡めながら，遊びを発展させ，幼児一人一人の望ましい発達を図ることを目指している。幼児が主体的に遊ぶプロセスを追い，どのような環境のもと，支援や言葉がけをしていくと幼児によって素材が価値ある教材に成長していくのかを探っている。幼児の主体的な遊びには，「試す，工夫する，つくり出す」のプロセスがあり，子どもによって『発意・構想・構築・遂行・省察』のサイクルが生み出されることが明らかになってきている。

色水でジュースやさんをしてみたいな（発意）

たくさん色水がいるよね（構想）

自動販売機もあると面白いかな（省察）

お客さんを呼んでやってみよう！（遂行）

お店はビールケースで作ったらどうかな？（構築）

年上の姿にあこがれを抱き，自分もきれいな色水を作りたいと願う。優しく花びらを摘んだり，水を加えすりつぶしたりと何度もやってみながら，自分で作り出す喜びを味わう。
（３歳児）

作りながら自分なりの言葉で表現したり，友達との対話を楽しんだりする。できた色水を見て充実感を味わい，自然の色の美しさに感動する。見てほしい，知らせたいと強く願う。
（４歳児）

自分が作った色水を使って，友達と一緒にジュース屋さんや牛乳パックを使っての染め物遊びなどに遊びを発展させる。
（５歳児）

価値ある教材とは	幼児と教材との出会いを支えるために教師は…
その素材の特性によって幼児の遊びを発展させるもの	遊びの中で見られる５つのサイクルを想定して素材を準備し，適切な言葉がけを考える。幼児の遊びのプロセスを追いながら，次の遊びへとつながるように，「遊びの振り返り」の持ち方を工夫する
年少から年長までのほとんどの幼児がその教材に触れ，年齢に応じた気づきや学びを生むことができるもの	園の伝統的な遊び（核となる遊び）を大切にし，遊びが続いていくための環境を整えたり，さらに遊びの可能性を広げられる仕掛けを考えたりする
幼児らの試行錯誤を促し，何度も繰り返し遊びたくなるもの	幼稚園の様々なところで試行錯誤が生まれるような素材や環境を日々研究し，教材と向き合っているところを読み取っていく

福井大学教育学部附属幼稚園　〒910-0015　福井県福井市二の宮４丁目45番１号
電話：0776-22-6687　FAX：0776-22-6718　Eメール：fuzokuyo@f-edu.u-fukui.ac.jp

遊びを支える教材の工夫・教材研究

【本園の教育目標】
『遊びにうちこむ子ども』
・じょうぶな子ども
・自分からやりぬく子ども
・思いやりのある子ども

【子どもの思いや願いを支えるためのカンファレンス】

本園では，年間カリキュラムを意識しつつも，一年を通して行われる子どもたちの遊びが決められた通りに行われているわけではない。子どもたちの思いを捉え，その思いを支えるための遊びの環境を，毎月考えながら保育を行っている。その際，『カンファレンス（注）』という営みの中で，子どもの思いからスタートする教材研究を日々繰り返すことで，遊びにうちこむ子どもを支えることを大切にしている。
（注）全担任が集まり，子どもの思いや遊びの環境について語り合う営み。

☆カンファレンスを経てうまれてきた遊びや教材の例☆

【空き箱積み木】

空き箱にガムテープを巻き付けてつくった手作りの積み木。市販品ではないので，子どものやりたいことに合わせた大きさの積み木を用意することができる。傾斜をつけた板に並べていくことで，思い通りの転がし遊びのコースをつくることができる。また，積み重ねていくことでトンネルをつくったり，立体的なコースをつくったりすることもできる。

【ビールケース】

軽くて丈夫なプラスチックでできているため，小さい子どもたちでも簡単に持ち上げたり，積み重ねたりすることができる。大きな積み木と組み合わせることで，自分たちが乗ることのできる，2階建ての家や秘密基地，電車などをつくって遊んでいる。年長にもなると，階段状に積み重ねていき，保育室の天井に触れるほどの高さになることもある。

【ビニールテープコマ】

短く切った割り箸にビニールテープを何重にも巻き付けて作るコマ。ビニールテープを巻き付ける回数や割り箸の先の削り方，長さを変えることでコマの回りが変化するので，子どもたちは，何度も試行錯誤しながら世界に一つの自分だけのコマをつくっている。友達と回る時間を競い合ったり，互いのコマをぶつけ合ったりして遊んでいる。

【様々な種類の樋】

雨樋やトタン板を加工してつくった樋，ホームセンターなどでよく見かける塩ビ管も立派な遊びを支える教材になる。子どもたちは，斜度や繋ぎ方を考えながら保育室からはみ出す程のコースをつくっている。また，木球やピンポン球，アルミホイルでつくった玉など，転がすものを変えることで，子ども達の遊びの様子もガラッと変わる。

【お花紙を使った色水】

水に溶けやすいお花紙は，色水遊びにもピッタリ。水の入っているボウルに小さくちぎったお花紙を入れ，泡立て器で混ぜるとあっという間にきれいな色水の完成。子どもたちは，様々な色のお花紙を混ぜ合わせて色の変化を楽しんだり，水の量を調節して粘度の異なる色水をつくったりしている。季節によっては草花を加えて，料理づくりに発展することもある。

【遊びの教材としての冷蔵庫】

廃品を再利用した冷蔵庫も遊びを支える教材になる。園内にあふれる自然の中で採ってきた草花や自分でつくった色水，泥などを凍らせることで，見た目だけでなく，温度を感じながら遊んでいくことができる。冷たい感触は夏の暑い日の遊びにピッタリ。日常生活で子どもたちの身近にある電化製品は，子どもたちの遊び心をくすぐる教材としても成り立つ。

信州大学教育学部附属幼稚園　〒390-0871　長野県松本市桐1-3-1
TEL：0263-37-2214　FAX：0263-37-2215　Mail：fyotien@shinshu-u.ac.jp

幼児を遊びに誘う魅力的な環境「遊誘財」

優れた保育環境には子どもが遊び込むことで伝承されてきた遊誘財が存在する

幼児期に必要な遊誘財	砂・土・泥・水など	造形遊具・玩具・記念物など	植　　物
	動　　物	表現文化	生活文化

誘遊財は，以下のような流れで遊びを誘発するものと考えます。

1）子どもたちの好奇心や興味を刺激し
2）子どもたちが自発的に対象を操作することで対象に変化を引き起こし
3）その変化に「なぜだろう?」と考えることをはじめ
4）何かの因果関係やつながりなどに気づきはじめ
5）面白い，驚き，好奇心，感動が生まれはじめ
6）繰り返すなかで知識や技術，思考方法を獲得しはじめ
7）何度もそのような仮説（過程）を繰り返すことで，目的をもって取り組むことをはじめ
8）目的が達成されると達成感や精神的充実感により自信や有能感をもちはじめ
9）自分達がどのような可能性をもっているかが分かりはじめ
10）それらのサイクルが友達同士で行われることで人間を理解し関係を創造（調整）する力が形成されはじめ
11）協力や協同の能力が育ちはじめ
12）組織・集団（社会）への参加することの大切さや必要性を身につけはじめ など

佐々木宏子 2010年 遊誘財リーフレットNo1より

鳴門教育大学附属幼稚園　〒770-0938　徳島市南前川町2-11-1
電話：088-652-2349　FAX：088-625-1995　Eメール：youchien@naruto-u.ac.jp

コ ラ ム

豊かな教育環境の創造につながる教材研究

國學院大學　教授

神長美津子 先生

環境を通して行う教育においては，幼児を取り巻くすべての環境が「教材」になりうる可能性があります。しかし，それは「幼児の周囲にいろいろなものがあれば，豊かな環境になる」ということではありません。多様さは必要ですが，幼児の発達にとって意味をもつ環境になっていくことが大切です。すなわち，幼児が主体的な活動を通してさまざまな体験を積み重ねていくためには，幼児の周りにある様々な事物や生き物，自然事象，社会事象等，また先生や友達などがそれぞれの幼児にどのように受け止められているか，そして，いかなる意味をもっているのかについて，教師自身がよく理解することが必要です。また，それらの環境の要因が、遊びを通して幼児の発達にどう影響していくのか，また発達の過程により，それはどう異なってくるのか等を予測していくことも必要です。このため，教師には，日頃から教材研究を通して環境を見る目を磨き，教材を工夫して物的・空間的環境の構成に生かすことが求められるのです。

例えば，ダンボール箱があったとします。おそらく，ダンボール箱の大きさやダンボールの硬さ，数，置き方等によって，幼児の活動は異なるでしょう。３歳児，４歳児，５歳児またはこれまでの遊びの経験によってもダンボール箱のもつ意味は異なります。それによって，ダンボール箱は，幼児が遊びを工夫して，繰り返し遊ぶ教材になりますし，幼児が全く関心をもたない素材にもなります。幼児の行動や心情によって，同じ素材でもそこで幼児が経験することは異なるのです。したがって，教師の援助もそれぞれにふさわしいものになるように工夫していく必要があります。

この意味で，環境を通して行う教育では，幼児理解に基づく保育とともに，豊かな教育環境を創造する教材研究により，幼児一人一人の「主体的・対話的な学び」を確保し，「深い学び」を保証していきます。各幼稚園の実態や課題に沿って行う教材研究が，その園の環境の在り様を左右し，教育の質を確かなものにしていくと考えます。同時に，教材研究の創意工夫が，園の特色づくりにもなっていきます。

今回，全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会で作成するリーフレット「遊びを支える教材の工夫と教材研究」には，各園で，教材研究を通して教育の質をどう高めていくかを考えていくヒントがいっぱい示されています。このリーフレットが，幼児教育が拡大している現状の中で，改めて環境を通しての教育における教材研究の意義を踏まえ，豊かな教育環境をつくるために広く活用されていくことを願っています。

平成 31 年度　全国国立大学附属幼稚園研究テーマ一覧

平成 31 年 2 月現在

	幼稚園名	研究テーマ	公開研究会等の期日
1	北海道教育大学 附属旭川幼稚園	「やってみたい」を育む環境づくり	6.21（金）
2	北海道教育大学 附属函館幼稚園	幼児の「考える力」を培う遊びのプロセスの創造　―ごっこ遊びを通した「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の育成を軸に―	7.27（土）
3	弘前大学教育学部 附属幼稚園	幼児期の体づくり（3年次） ～健やかな心の育ちに着目して～	6.22（土）
4	岩手大学教育学部 附属幼稚園	豊かな遊びを育む	6．9（日）
5	宮城教育大学 附属幼稚園	子どもが夢中になって遊ぶ環境とその援助 ～心の育ちと言葉の育ち～（第2年次）	10.29（火）
6	秋田大学教育 文化学部附属幼稚園	自発的活動としての遊びを中心とする保育 ～子ども主体の生活と保育者～	6.27（木） 10.30（水）
7	山形大学 附属幼稚園	遊びこむ子どもを育む	6.20（木） 「遊びと学びを考える会」
8	福島大学 附属幼稚園	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を探る（3年次）	11.15（金） 11.16（土）
9	茨城大学教育学部 附属幼稚園	幼児期に育ってほしい姿をどう捉えるか（仮）	2.14（金）
10	宇都宮大学教育学部 附属幼稚園	『遊びって学び!!』 ～幼児期の遊びや生活の中で育まれる資質・能力～	6.22（土）
11	群馬大学教育学部 附属幼稚園	幼児の遊びが豊かになる園庭	5.30（木） 10.19（土）
12	埼玉大学教育学部 附属幼稚園	しなやかな心と体を育む ～多様な動きの経験を引き出すための遊びの充実～	11．6（水）
13	千葉大学教育学部 附属幼稚園	子どもと教師が共に主体となる保育 ～対話を通してゴールを決める：教育課程の再編成～	11．9（土） 2.22（土）
14	東京学芸大学 附属幼稚園小金井園舎	しなやかな心と体をはぐくむ保育（2年次）	11．9（土）
	東京学芸大学 附属幼稚園竹早園舎	学びを深める場をつくる	11.16（土） 幼小中合同研究会
15	お茶の水女子大学 附属幼稚園	幼児の発達と学びの連続性を踏まえた幼稚園の教育課程（3歳児～5歳児）の編成及び保育の実際とその評価の在り方についての研究開発（2年次）	6.28（金） 2.7（金）予定
16	山梨大学教育学部 附属幼稚園	保育における子どもの声（3年次） ―対話する保育を目指して―	12．7（土）
17	新潟大学教育学部 附属幼稚園	新たな世界を創り出す子供をはぐくむ ―「統合的な学び」の実現を通して―（第3年次）	9.19（木）
18	富山大学人間発達科学部 附属幼稚園	子供の探究心を育む ―領域「環境」を中心に― ～探究する子供の学びを捉える（1年次）～	6.20（木）
19	金沢大学人間社会 学域学校教育学類 附属幼稚園	接続期の教育における学びを探る ～接続期カリキュラムの作成～	11．1（金）
20	福井大学教育学部 附属幼稚園	つながりが育む学びの深まり ～試す、工夫する、つくり出す遊びを求めて～	11．9（土）
21	信州大学教育学部 附属幼稚園	「未来を拓く学校づくり」～幼稚園・小学校・中学校の校種を越えて貫く学びとその支援・援助の可能性を探る～ 「たくましく心豊かな地球市民」を育む12年間の幼小中一貫教育　文部科学省指定研究開発校【4年次】	5.17（金）
22	上越教育大学 附属幼稚園	子どもを支える保育（仮） ～評価を通して～	10．9（水） 幼児教育研究会 公開 5.24（金） 保育 9.20（金）
23	静岡大学教育学部 附属幼稚園	未定	公開園内研 3回予定
24	愛知教育大学 附属幼稚園	体と心を十分に動かして遊ぶ幼児の育成（2年次）	11．7（木）
25	三重大学教育学部 附属幼稚園	夢中になって遊ぶ姿を支える教師の援助 ～幼小接続を意識した、3・4・5歳の学び～	11．9（土）
26	滋賀大学教育学部 附属幼稚園	「わくわくの創造」 ～遊びを通して子供を見つめる～	11.15（金）
27	京都教育大学 附属幼稚園	幼児の“探求力”を探る―第4年次―	12.14（土）予定
28	大阪教育大学 附属幼稚園	①遊びに生きる子どもを育む（1年次） ②一人ひとりの多様な可能性を広げる評価の在り方	11．9（土）
29	兵庫教育大学 附属幼稚園	未定	11.30（土）予定
30	神戸大学 附属幼稚園	幼稚園と小学校の円滑な接続に資する、子どもの学びに着目した、幼児教育と小学校教育9年間を一体としてとらえた教育課程の大綱となる「初等教育要領」の充実	6.15（土）
31	奈良教育大学 附属幼稚園	“楽しさ”から“おもしろさ”へ ～探究し、試行する保育を目指して～ 心のトキメキから知的なヒラメキを生む環境構成	11.30（土）
32	奈良女子大学 附属幼稚園	「育ちの履歴」から編成するカリキュラム―幼小一貫した資質・能力を育成する―	2．8（土）
33	鳥取大学 附属幼稚園	いま伸びする力とあと伸びする力を育てる～幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を視点として～	7．6（土）
34	島根大学教育学部 附属幼稚園	遊びこむ子どもを育てる（4年次） ～評価を基にした深い学びを実現する活動計画の構築～（仮）	11.14（木）予定
35	岡山大学教育学部 附属幼稚園	共にくらしを創る（2年次） ～思わず伝えたくなる人やものとの出会い～	11．2（土） 保育実践研究会
36	広島大学 附属幼稚園	持続可能な社会の担い手となるために、その基盤となる態度や資質・能力を明らかにし、「自然とのつながり」と「人とのつながり」の直接体験を通して、それらを育成する幼児期の教育課程の研究開発	10.30（水）
37 ◎	広島大学 附属三原幼稚園	高度に競争的でグローバル化された多様性社会に適応するために求められる、3つの次元(横断的な知識・レジリエンス・躍動する感性)の基礎となる資質・能力を育成する幼小中一貫教育カリキュラムの研究開発(第2年次)	11.30（土）
38	山口大学教育学部 附属幼稚園	よりよい未来を共に創り出す人間 ～「対象・自己・他者と向き合う子どもの姿」をめざして～	11.22（金） 幼小中合同開催
39	鳴門教育大学 附属幼稚園	遊誘材から豊かな遊びを創り出すためにⅤ	11．9（土）
40	香川大学教育学部 附属幼稚園	保育する	31 年度は実施せず
	香川大学教育学部 附属幼稚園高松園舎	未定	2．7（金）
41	愛媛大学教育学部 附属幼稚園	未定	1.31（金） 2．1（土）
42	高知大学教育学部 附属幼稚園	未定	未定
43	福岡教育大学 附属幼稚園	未定（一年次）	11．2（土）
44	佐賀大学文化教育学部 附属幼稚園	遊びや友達の中で育まれる力(仮)	2.16（日）予定
45	長崎大学教育学部 附属幼稚園	園生活を通して育まれる自己肯定感 ～未定～	31 年度は実施せず
46	熊本大学教育学部 附属幼稚園	「学びをつなぐ教育課程の創造」 ～幼児期における主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～	11．8（金）
47	大分大学教育学部 附属幼稚園	子どもの主体的な活動を支える保育を目指して（2年次）	11．9（土）
48	宮崎大学教育学部 附属幼稚園	主体的・対話的な活動ができる子どもを育てる援助の在り方(3年次)	2．8（土）
49	鹿児島大学教育学部 附属幼稚園	遊びの中で育まれる子どもの学び ～“学びの過程”に着目した保育実践～	11．9（土）

発　行

全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会

事 務 局

群馬大学教育学部附属幼稚園

〒371-0032　群馬県前橋市若宮町2-5-3
TEL　027-231-3170　FAX　027-231-3163
Eメール　kuro-yumi@gunma-u.ac.jp